

内閣官房・内閣府本府等行政事業レビュー外部有識者会合議事要旨

日時：令和3年5月14日（金）14:05～14:53

場所：オンライン会議

出席者（敬称略）：

外部有識者（内閣官房・内閣府本府等選定）

石堂正信 公益財団法人交通協力会常務理事

山谷清志 同志社大学政策学部・大学院総合政策科学研究科教授

今井猛嘉 法政大学大学院法務研究科教授

※南島和久新潟大学法学部教授は御欠席のため事務局から事前
にご意見を聴取

外部有識者（行政改革推進本部事務局選定（議題3関係））

赤井伸郎 大阪大学国際公共政策研究科教授

永久寿夫 株式会社PHP研究所取締役・専務執行役員

山田 肇 特定非営利活動法人情報通信政策フォーラム理事長

○議題1：外部有識者会合等とりまとめ役の選任について

本会合のとりまとめ役及び行政事業レビュー実施要領（以下「実施要領」という。）第2部3（2）①に基づく公開プロセスのとりまとめ役として石堂委員を指名する旨、事務局から報告した。

○議題2：外部有識者点検対象事業について

事務局から、実施要領第2部2（3）①及び②に掲げられた点検対象選定の考え方を説明し、それに基づき作成した点検対象事業候補（資料1）を提示したところ、外部有識者（内閣官房・内閣府本府等選定）から意見はなかった。これを受け、事務局において資料1のとおり点検対象事業を選定する手続きを進めることとした。

○議題3：公開プロセス対象事業について

議題2の点検対象事業候補のうち、実施要領第2部3（1）①に基づき外部有識者より意見を聴取し、議論の対象となった事業について投票を行った。その結果、出版諸費、地方版総合戦略の推進に必要な経費、途上国等におけるSTI for SDGsの推進が公開プロセスの対象事業として相応しいとされ、事務局において同3事業を公開プロセス対象事業として選定する手続きを進めることとした。有識者の主な意見は以下のとおり。

<主な意見内容>

- ・「出版諸費」については、平成28年度の公開プロセスで指摘した事項が改善されているかどうか、点検することが有効なのではないか。
- ・「沖縄テレワーク推進事業」について、類似事業との関係について議論することが有効なのではないか。
- ・「地方版総合戦略の推進に必要な経費」について、事業の規模が大きく、RESASがどう活用され、どのような効果があるのか。また、適切な成果目標が設定されているのかなど、議論することが多いと思われるため、公開プロセスになじむのではないか。
- ・「途上国等におけるSTI for SDGsの推進」について、適切な効果測定が行われているのか等、点検してはいかがか。
- ・SIPについてもレビューすべきだが、府省横断的に実施されているので、秋のレビューに向いているのではないか。

○今後のスケジュールについて

今後のスケジュールについて、資料2に基づき、事務局から説明を行った。

【配付資料】

資料1：外部有識者点検対象事業（案）一覧

資料2：今後のスケジュール

参考資料1：行政事業レビュー実施要領（令和3年3月26日改正）

参考資料2：令和3年度行政事業レビューシート（様式）

参考資料3：内閣官房・内閣府本府等行政事業レビュー行動計画（令和3年4月12日決定）

参考資料4：対象事業の選定の考え方について